【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公開番号】特開2001-57672(P2001-57672A)
【公開日】平成13年2月27日(2001.2.27)
【出願番号】特願平11-232248
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　7/14　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/15　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　7/14
Ｈ０４Ｎ　7/15　６３０Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月10日(2006.3.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　他の通信装置と相互に画像データおよび音声データを通信する通信装置において、
前記他の通信装置から送信されてきた前記音声データを受信する第１の受信手段と、
前記第１の受信手段により受信された前記音声データの出力を制御する出力制御手段と、
前記他の通信装置から送信されてきた前記画像データを受信する第２の受信手段と、
生体情報を検出する検出手段と、
前記検出手段により検出された前記生体情報に基づいて、前記第２の受信手段により受信された前記画像データの表示を制御する表示制御手段と
を備えることを特徴とする通信装置。
【請求項２】　前記検出手段は、前記生体情報として、視線ゆらぎの大きさ、瞳孔の径の大きさ、発汗量、心拍数、または血圧の少なくとも１つを検出する
ことを特徴とする請求項１に記載の通信装置。
【請求項３】　前記出力制御手段は、前記検出手段により検出された前記生体情報に基づいて、前記第１の受信手段により受信された前記音声データの出力を制御する
ことを特徴とする請求項１に記載の通信装置。
【請求項４】　前記出力制御手段は、前記音声データを増幅する増幅率を調整する
ことを特徴とする請求項３に記載の通信装置。
【請求項５】　前記出力制御手段は、前記音声データの周波数または位相特性を調整する
ことを特徴とする請求項３に記載の通信装置。
【請求項６】　前記生体情報と対応して画像データを記憶する記憶手段
をさらに備え、
前記表示制御手段は、前記記憶手段に前記画像データに対応して記憶されている前記生体情報に基づいて、前記画像データの表示を制御する
ことを特徴とする請求項１に記載の通信装置。
【請求項７】　前記生体情報と対応して画像データを記憶する記憶手段
をさらに備え、

前記出力制御手段は、前記生体情報に基づいて、前記音声データの出力を制御する
ことを特徴とする請求項３に記載の通信装置。
【請求項８】　他の通信装置と相互に画像データおよび音声データを通信する通信装置の通信方法において、
前記他の通信装置から送信されてきた前記音声データを受信する第１の受信ステップと、
前記第１の受信ステップの処理で受信された前記音声データの出力を制御する出力制御ステップと、
前記他の通信装置から送信されてきた前記画像データを受信する第２の受信ステップと、
生体情報を検出する検出ステップと、
前記検出ステップの処理で検出された前記生体情報に基づいて、前記第２の受信ステップの処理で受信された前記画像データの表示を制御する表示制御ステップと
を含むことを特徴とする通信方法。
【請求項９】　他の通信装置と相互に画像データおよび音声データを通信する場合の通信用プログラムであって、
前記他の通信装置から送信されてきた前記音声データを入力する第１の入力ステップと、
前記第１の入力ステップの処理で入力された前記音声データの出力を制御する出力制御ステップと、
前記他の通信装置から送信されてきた前記画像データを入力する第２の入力ステップと、
生体情報を検出する検出ステップと、
前記検出ステップの処理で検出された前記生体情報に基づいて、前記第２の入力ステップの処理で入力された前記画像データの表示を制御する表示制御ステップと
からなることを特徴とするプログラムをコンピュータに実行させる媒体。
【請求項１０】　他の通信装置と相互に画像データおよび音声データを通信する通信装置において、
ユーザを撮像する撮像手段と、
前記ユーザの音声を集音する集音手段と、
生体情報を検出する検出手段と、
前記他の通信装置から送信されてきた生体情報を受信する受信手段と、
前記受信手段により受信された前記生体情報に基づいて、前記撮像手段による撮像を制御する第１の制御手段と、
前記受信手段により受信された前記生体情報に基づいて、前記集音手段による集音を制御する第２の制御手段と
を備えることを特徴とする通信装置。
【請求項１１】　前記撮像手段は、ビデオカメラであり、
前記第１の制御手段は、前記ビデオカメラの配置位置を調整する
ことを特徴とする請求項１０に記載の通信装置。
【請求項１２】　前記撮像手段は、ビデオカメラであり、
前記第１の制御手段は、前記ビデオカメラのズーム倍率を調整する
ことを特徴とする請求項１０に記載の通信装置。
【請求項１３】　前記集音手段は、マイクロフォンであり、
前記第２の制御手段は、前記マイクロフォンの配置位置を調整する
ことを特徴とする請求項１０に記載の通信装置。
【請求項１４】　前記集音手段は、マイクロフォンであり、
前記第２の制御手段は、前記マイクロフォンの指向性を調整する
ことを特徴とする請求項１０に記載の通信装置。
【請求項１５】　他の通信装置と相互に画像データおよび音声データを通信する通信装

置の通信方法において、
ユーザを撮像する撮像ステップと、
前記ユーザの音声を集音する集音ステップと、
生体情報を検出する検出ステップと、
前記他の通信装置から送信されてきた生体情報を受信する受信ステップと、
前記受信ステップの処理で受信された前記生体情報に基づいて、前記撮像ステップの処理での撮像を制御する第１の制御ステップと、
前記受信ステップの処理で受信された前記生体情報に基づいて、前記集音ステップの処理での集音を制御する第２の制御ステップと
を含むことを特徴とする通信方法。
【請求項１６】　他の通信装置と相互に画像データおよび音声データを通信する場合の通信用のプログラムであって、
ユーザを撮像する撮像ステップと、
前記ユーザの音声を集音する集音ステップと、
生体情報を検出する検出ステップと、
前記他の通信装置から送信されてきた生体情報を入力する入力ステップと、
前記入力ステップの処理で入力された前記生体情報に基づいて、前記撮像ステップの処理での撮像を制御する第１の制御ステップと、
前記入力ステップの処理で入力された前記生体情報に基づいて、前記集音ステップの処理での集音を制御する第２の制御ステップと
からなることを特徴とするプログラムをコンピュータに実行させる媒体。